

夏の夜空彩る1万5,000発

8月15日に利根川河川敷で前橋花火大会

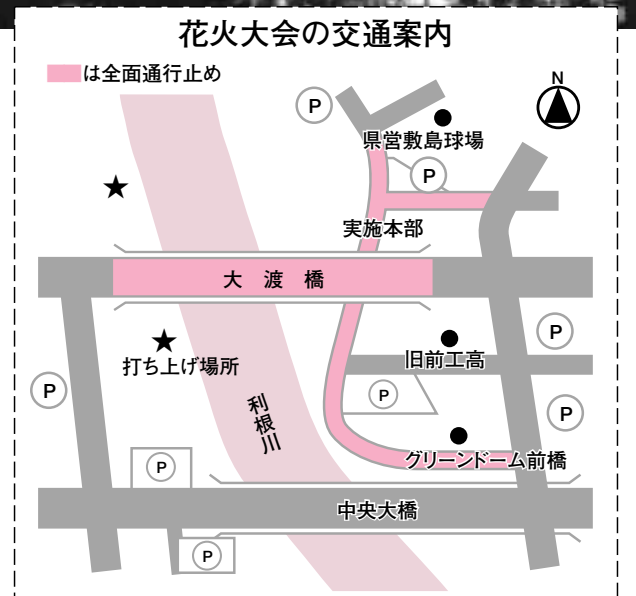


今年も八月十五日(火)に前橋花火大会を開催します。真夏の夜空に咲く一万五千発の大輪の花をお楽しみください。当日は周辺道路で交通規制を実施。駐車場にも限りがありますので、徒歩や公共交通機関でお越しください。問い合わせは同大会実施委員会(にぎわい観光課 ☎890-6606、商工会議所 ☎234-5111)へ。

前橋花火大会を八月十五日(火)に大渡橋周辺の利根川河川敷で開催。スターマインや空中ナイアガラなど一万五千発が真夏の夜を彩ります。家族や友達と一緒に不出掛けくだ

で絶対にやめましょう。やむなく車で来場する場合は、中心市街地の有料駐車場を利用してください。会場までは徒歩で十五分です。なお、午後六時から九時まで、県営敷島球場の内野席を開放。また、午後七時から九時まで群馬テレビとエフエム群馬で生中継します。日時 8月15日(火)午後7時～9時(荒天の場合は16日(水)以後に順延) 打ち上げ場所 大渡橋を中心とした利根川西側河川敷 花火の種類・打ち上げ数 スターマイン、早打ち連発、空中ナイアガラなど

一万五千発 交通規制 国体道路(グリーンロード)前橋、県営敷島球場入口：午後4時～10時、大渡橋(全面通行止め)：午後7時～9時30分(北側歩道は午後5時から)、中央大橋(北側歩道での観覧禁止)：午後5時～9時30分 清掃ボランティア 日時 8月16日(水)午前6時～8時(花火大会順延の場合はその翌日) 集合場所 花火大会実施本部(利根川東側河川敷) 内容 ゴミなどの回収 その他 手袋、ゴミ袋は実施委員会 で用意 申し込み 当日集合場所へ直接



市街地が焼け野原に (共愛学園提供)

平和な社会いつまでも

戦争の悲劇を繰り返さないように

昭和二十年八月五日、本市は大空襲を受け多くの犠牲者を出しました。この悲劇を繰り返さないよう、戦争の悲惨さを次世代へ引き継がなければなりません。ここでは、空襲の被害状況と体験記を紹介。犠牲になった人の冥福を祈り、戦争のない平和な社会の実現を考えましょう。

防空ごうで耐えた暑い夜

北代田町・西野マサさん(88)

暑い夜でした。主人は出征中で、一歳三カ月の長女はいつになくむずかかって寝つかず、娘を抱きながら軒下で涼んでいました。

急に空襲警報が鳴りました。普段は警戒警報があつてからなのですが、真つ暗な空を見上げるとライトを付けた飛行機に続きB29の大編隊が爆音とともに襲ってきます。急いで防空ずきんをかぶり、子どもを背負

って義母と防空ごうへ。その時、ぱつと明るくなりました。照明弾です。その明るさに「もうどこへ行っても駄目だ」と思いました。続いて焼夷弾。火の玉が空中ではじけ、大きな線香花火のよう。逃げ込んだ防空ごうは人であふれ、一時間ほどの空襲を狭い中みんなで息をひそめ、震えながら耐えていました。爆撃の音がやんだので外へ出ると、そこは火の海。家は焼け、全財産



を失ってしまいました。

翌年七月、主人が復員。家族が再びそりました。大工だった主人は、わたしが防空ごうに保管しておいた道具を見て喜び、それから二人して夢中で働いたのです。子宝にも恵まれ、食糧難の苦しい中でも明るく暮らしてきました。

本市が空襲を受けたのは昭和二十年の八月五日。翌日に広島市、四日後には長崎市へ原子爆弾が投下されました。そして十五日、日本は無条件降伏し、終戦を迎えたのです。 前橋大空襲で死者535人 八月五日午後十時三十分、前橋大空襲は照明弾の投下で始まりました。続いて岩神町に焼夷弾が落とされ、現在の三中付近にあった県立第一工業高校と共愛女学校が炎上。市中心部の空襲は一時間十五分にも及びました。 この空襲は九十二機のB29爆撃機によるもので、六百九十一機の焼夷弾、一七・六機の破碎爆弾、一五・二機の一般爆弾が投下。被害は死者五百三十五人、負傷者六百人、被災戸数一万四千四百六十戸、被災者は全市人口の六五・二%にもなる六万七百三十八人でした。特に多くの死者が出たのは広瀬川比刀根橋脇の防空ごうと細ヶ沢十字路(住吉町一丁目)の水路でした。こ

冥福祈り 黙とうを

戦争で亡くなった人たちの冥福を祈り、原爆が投下された時刻などには黙とうをささげましょう。 広島市の原爆投下 8月6日(日)午前8時15分 長崎の原爆投下 8月9日(水)午前11時2分 戦没者を追悼し平和を祈念する日 8月15日(火)正午

の辺りは火の海となり、防空ごうの中にいた人が窒息死。また、市街へ逃れる人が猛火に巻かれ、水路へ逃げながら亡くなりました。

周辺町村も空襲に

昭和二十九年以降に本市と合併した周辺町村にも、空襲の被害が及びました。上川淵・下川淵・芳賀・桂萱・東・元総社・総社・南橋・木瀬(永明・城南の一部)の各地区を合計すると、死者四十七人、負傷者百十四人、被災戸数五百一十一戸でした。

問い合わせはいきいき生活課 ☎890-6236へ。